

経済学史学会第68回大会プログラム
北星学園大学（2004年5月29日-30日）

5月29日(土) 第1日
自由論題（報告30分、討論30分、会場移動5分）

時刻		第1会場	第2会場
9:45		開会挨拶（主催校[田村信一幹事]）	
9:55	論題	‘Christian Political Economy’ と大英帝国 — ディヴィッド・リヴィングストンにおける経済的自由主義	マーシャルとカニンガムの方法論争
10:55	報告者 司会者	鈴木平（名古屋大学大学院） 熊谷次郎（桃山学院大学）	門脇覚（中央大学大学院） 栗田啓子（東京女子大学）
11:00	論題	ウォルター・バジヨットの政治経済思想 — 『自然科学と政治学』から『経済学研究』へ	『数理精神科学』における功利主義擁護論 — エッジワースのボックス・ダイアグラムと功利主義
12:00	報告者 司会者	山根聡之（一橋大学大学院） 深貝保則（東京都立大学）	上宮智之（関西学院大学大学院） 御崎加代子（滋賀大学）
12:00			昼食・休憩
13:00			
14:00		会員総会	
14:05	論題	18世紀経済思想における文明史論と<競争心> — ヒューム、ファーガソン、スミス、タウンゼント	ピグーの『失業の理論』 — 20年代構造不況の理論表現として
15:05	報告者 司会者	深貝保則（都立大学） 篠原久（関西学院大学）	本郷亮（甲南大学非常勤） 上宮正一郎（神戸大学）
15:10	論題	アダム・スミスの理論とアマルティア・センの理論の親和性	ホートリーの信用貨幣論
16:10	報告者 司会者	上山敬補（鹿児島国際大学大学院） 只腰親和（横浜市立大学）	内藤敦之（一橋大学大学院） 平井俊顕（上智大学）
16:15	論題	リカードウ課税論におけるスミス批判	J. M. クラークとニューディール
17:15	報告者 司会者	佐藤滋正（尾道大学） 水田健（東日本国際大学）	佐藤方宣（東京都立大学学術研究員） 西沢保（一橋大学）

5月30日(日) 第2日
午前：自由論題（報告30分、討論30分、会場移動5分）

時刻		第1会場	第2会場
9:55	論題	実物的景気循環論の成立	ヴェブレンとカントの目的論
10:55	報告者 司会者	山崎好裕（福岡大学） 堂目卓生（大阪大学）	石田教子（中央大学大学院） 原田哲史（四日市大学）
11:00	論題	カレツキ資本主義経済論体系の形成と展開	企業家論の再検討 — コーディネーション、イノベーションそしてリスク
12:00	報告者 司会者	山本英司（龍谷大学非常勤） 山田鋭夫（名古屋大学）	吉田昌幸（北海道大学大学院） 池田幸弘（慶応大学）
12:00			昼食・休憩
13:00			
午後：共通論題			
13:00	テーマ	ケンブリッジ学派の多様性とその展開 — 思想・理論・政策の複合的研究	
	組織者	平井俊顕（上智大学）・西沢保（一橋大学）	
	司会者	井上琢智（関西学院大学）・服部正治（立教大学）	
	報告者	平井俊顕 問題提起 「いまなぜケンブリッジ学派なのか」 橋本昭一（関西大学） 「ケンブリッジ学派のコア」 西沢保 「マーシャル学派の形成と変容」 藤井賢治（青山学院大学） 「マーシャル的伝統の継承と断絶」 袴田兆彦（中央大学） 「完全競争と不完全競争」	

平井俊顕「戦間期ケンブリッジ学派の社会哲学」

17:00 討論者 井上義朗（中央大学）、西岡幹雄（同志社大学）
まとめ 西沢保

17:00 閉会の辞（八木紀一郎代表幹事）

第3会場

貨幣論におけるジンメルの位置

中村俊一（横浜市立大学大学院）
内田弘（専修大学）

ユストゥス・メーザーにおける反集権主義と経済

原田哲史（四日市大学）
植村邦彦（関西大学）

ギルド社会主義再考

— K.ポラニーとミーゼスの論争をめぐって

栗田健一（北海道大学大学院）
田村信一（北星学園大学）

ミーゼスの経済計算論と社会主義経済計算論争

— 理論的・歴史的展開の過程とその意義

尾近裕幸（國學院大学）
伊藤誠（國學院大学）

費用価格の転化におけるマルクスとエンゲルス

平石修（北海学園大学非常勤）
的場昭弘（神奈川大学）

第3会場

ルードヴィヒ・ラックマンの経済思想

— 特にオーストリア学派の先行世代との関係を中心に

原谷直樹（東京大学大学院）
中山智香子（東京外国語大学）

デジタルMarx

— 東北大学附属図書館所蔵マルクス/エンゲルス

貴重書画像データベース化の試み

大村泉（東北大学）・窪俊一（東北大学）・久保誠二郎（東北大学）
赤間道夫（愛媛大学）

